

明けましておめでとうございます。冬休みはどんな風に過ごしましたか？普段は会う機会のない祖父母や親戚の方、遠方に住んでいる友人等と交流できた人もいます。人生は一期一会、いつでも会えると思っても、思わぬことで会う機会を失くしてしまうこともあります。日々の出会いを大切に新年を心新たに過ごしていきたいものですね。年末からインフルエンザ等の感染症が大流行しています。寒さで体力が奪われやすい時期です。鍋物やスープ、麺類などで体温を上げて、免疫力を高めましょう。受験生は体調管理に気をつけて！

20歳未満の飲酒が禁止されている理由

長期休みは家族・親戚や友だちと集まる機会がある人も多いと思います。もしもそこで「ちょっとくらい大丈夫だよ」とお酒を勧められても、絶対に飲んではいけません。20歳未満の飲酒が法律で禁止されているのにはちゃんと理由があります。

急性アルコール中毒になりやすいから

楽しいから一緒に飲もうよ

え...

大丈夫かな

おっ！いいね！

いっきいっき！

あんまり飲んではないはずなのに...

倒れて救急車で運ばれる...

10代の体は発達途中で、お酒（アルコール）を分解する力が弱く、少量の飲酒でも危険です。ましてや「いっき飲み」のような飲み方をするとう分解が追いつかず、大量のアルコールが体中を巡り、心臓や呼吸機能などに異常が起こり、最悪の場合は死に至ることもあります。

記憶力が悪くなるなど脳の機能が低下するから

お祝いでもしようかな！

大学生受験も合格したし、お祝いでもしようかな！

飲みたい〜

お酒 楽しいな〜！

試験前 あれ？ 勉強したはずなのに... 全然覚えられてない...！?

なんでこんなに覚えられないんだ〜！

アルコールは脳を麻痺させ、高揚感などをもたらす反面、思考力や記憶力を低下させます。一時的なものと思われがちですが、若いうちから過度に飲酒する習慣がある人の脳では、記憶を司る海馬が縮み、生涯に渡って記憶力が低下したケースもあります。

将来アルコール依存症になりやすいから

お前も一杯どうよ！

なんだかフワフワする。お酒って楽しいかも

飲みたいよ〜

大学生になり、飲酒が習慣に

お酒を飲むように

社会人1年目、嫌なことがあるとお酒を飲むように

会社に行く前に泥酔...

10代の飲酒とアルコール依存症には深い関わりがあります。15歳から飲酒を始めた人の約50%がアルコール依存症になるといわれており、また飲酒開始年齢が低いほど、数カ月・数年といった短期間で急速にアルコール依存症を発症する恐れがあります。

HPV ワクチン無料延長へ！

子宮頸がん予防 97～07 年度生まれへの措置

現高校 1 年生、3 月までに 1 回接種すれば期間 1 年延長

1997 年～2007 年度生まれの女性が、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス (HPV) の予防接種を無料で受けられる措置を厚生労働省は 3 月までの期限を条件付きで延長する方針を固めた。(「キャッチアップ接種」という)

・15 歳以上では HPV ワクチンは基本的に 3 回接種が必要になる。接種の間隔を数カ月あけるため、3 回目を終えるまでに約 6 カ月かかる。

3 月までに初回の接種をしておけば 3 回目までの接種を 4 月以降も無料にする。

ただ、厚生労働省の調査では、対象者の半数がこの措置を知らないと答えており、呼びかけを強化している。

HPV は 200 種類以上あり、少なくとも 15 種類で子宮頸がんを引き起こすことが分かっている。性交渉を通じ、女性の多くが生涯に 1 度は感染すると言われる。感染しても自然消滅することが多いが、一部の人では感染が持続し、数年から数十年かけて子宮頸がんになることがある。

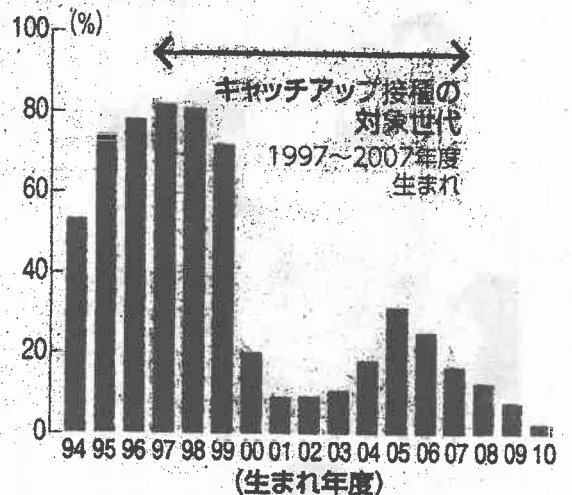
HPV ワクチン は、子宮頸がんの原因になる種類の HPV の感染を防ぐ。9 個の型の HPV に対応する 9 価ワクチンは、子宮頸がんの原因となる HPV の 8～9 割を予防できるとされる。

自費で打つと数万～10 万円程かかる費用を、公費で全額負担している。

ただ、このキャッチアップ接種は厚労省が思うようには広がっていない。措置が始まった 2022 年度に 1 回接種した人は、生まれた年度別にみて対象者の約 2～9%にとどまる。

1994～2010 年度生まれの HPV ワクチンの累計接種率 (23 年 3 月時点)

厚生労働省の専門家部会の資料から
定期接種化される前は、接種費用を公費負担する「緊急促進事業」で接種した人が多いため、1997～99 年度生まれの接種率は高い



性交渉の経験者にも「一定の効果」

子宮頸がん は、若い女性では乳がんに近いで多いがん。国内では毎年約 1.1 万人がかかり、約 1/4 の 2900 人が亡くなっている。治療のために子宮を摘出する 30 代以下の女性も、年間約 1000 人いる。

2000 年代に入ると 20～30 代でかかる人が増えた。HPV は性交渉で感染するため、ワクチンは性交渉を経験する前に接種することで感染予防の効果が期待できる。

一方で、キャッチアップ接種の対象は、すでに性交渉を経験している人も多い世代だ。それでも、東京医科大学の岩田 敏・兼任教授 (微生物学) は「性交渉を経験している人でも、子宮頸がんのリスクが高い型のウイルスにはまだ感染していない可能性があり、接種には一定の効果がある」と勧める。

※無料接種を受けたいのに未接種の人は自治体の HP や、かかりつけ医等で接種できる日程を確認して 3 月中に 1 回目接種を受けましょう。